

# 目次

= SketchUp 編 =

-007-

<b>01. インストール</b>	-009-
<b>02. ライセンス認証 / ライセンス削除</b>	-014-
<b>03. 環境設定</b>	-019-
1. テンプレートの選択	-019-
2. Open GL 設定	-022-
3. アクセシビリティ	-023-
4. アプリケーション	-024-
5. ショートカット	-024-
6. ファイル	-026-
7. ワークスペース	-027-
8. 互換性	-028-
9. 全般	-029-
10. 描画	-031-
サインインについて	-032-
<b>04. 拡張機能マネージャー</b>	-035-
<b>05. モデル情報</b>	-038-
1. アニメーション	-038-
2. クレジット	-039-
3. コンポーネント	-040-
4. ジオロケーション	-041-
5. テキスト	-042-
6. ファイル	-043-
7. レンダリング	-045-
8. 寸法	-046-
9. 単位	-048-
10. 統計	-050-
11. 分類	-051-
<b>06. ツールアイコン</b>	-052-
1. 画面解説	-052-
2. ツールアイコンセットの配置	-053-
3. ツールアイコン	-055-
①基本ツール / ②ラージツールセット / ③場所 / ④アドバンスカメラツール	
⑤カメラツール / ⑥ギャラリーツール / ⑦サンドボックスツール	
⑧スタイルツール / ⑨ソリッドツール / ⑩ビューツール / ⑪影ツール	
⑫構築ツール / ⑬主要ツール / ⑭測定ツール / ⑮断面ツール	
⑯動的コンポーネントツール / ⑰描画ツール / ⑱分類ツール / ⑲編集ツール	
⑳ Trimble Connect ツール	
<b>07. 各種ウィンドウ</b>	-101-
1. エンティティ情報	-102-
2. マテリアル	-103-
①既存のマテリアルを使う / ②マテリアルの編集	
③マテリアルの調整 / ④イメージをマテリアルとして利用する	
3. コンポーネント	-108-
①既存のコンポーネントを使う / ② 3D Warehouse を利用する	
③ BuildMate を利用する / ④コンポーネントを作成する	
⑤コンポーネントのオリジナルコレクションを作成する	

4. スタイル	-115-
5. アウトライン表示	-120-
6. シーン	-121-
7. タグ	-123-
<b>08. ファイルのインポート / エクスポート</b>	-124-
1. インポートファイル	-124-
①インポートオプション / ②インポート単位 / ③2Dグラフィックデータのインポート / ④CADデータのインポート	
2. エクスポートファイル	-128-
①2Dデータのエクスポート / ②エクスポートオプション / ③3Dデータのエクスポート	
<b>09. レポートを生成について</b>	-142-
<b>10. トレイについて</b>	-146-
1. トレイの追加	-146-
2. トレイの位置を移動する	-147-
3. トレイのタブの操作	-148-
4. トレイの非表示	-148-
5. トレイを自動的に隠すようにする	-149-

## = LayOut 編 = -151-

<b>01. 起動と初期画面</b>	-153-
1. 用紙の選択 (テンプレートの使用)	-153-
2. 環境設定	-155-
①アプリケーション / ②バックアップ / ③フォルダ / ④全般 / ⑤プレゼンテーション / ⑥縮尺 / ⑦ショートカット / ⑧起動	
<b>02. 描画ツール</b>	-158-
1. 選択ツール	-158-
2. 線ツール	-159-
3. フリーハンドツール	-161-
4. 円弧ツール	-161-
5. 2点円弧ツール	-161-
6. 3点円弧ツール	-162-
7. 扇形ツール	-162-
8. 長方形 角丸 俵型 樽型	-163-
9. 円ツール	-163-
10. 楕円ツール	-163-
11. ポリゴンツール	-164-
12. オフセットツール	-164-
13. テキストツール	-165-
14. ラベルツール	-166-
15. 直線寸法ツール	-167-
16. 角度ツール	-168-
17. 表ツール	-169-

<b>03. ドキュメント設定</b>	-171-
①自動テキスト／②グリッド／③グループ／④用紙／⑤参照／⑥単位	
<b>04. 準備からテンプレート設定まで</b>	-174-
1. 準備	-174-
①用紙の設定／②単位の設定	
③グリッド表示とスナップの設定／④グリッド間隔の調整	
2. 画面枠のドロ잉	-175-
①枠の作成／②テキストの挿入	
3. レイヤの設定	-176-
①レイヤの表示／②レイヤの追加	
③エンティティのレイヤ変更／④レイヤの属性を変更する	
4. ページの作成	-179-
①ページの表示／②ページの追加	
5. テンプレートとして保存	-180-
<b>05. SketchUp モデルの挿入</b>	-181-
1. SketchUp モデル	-181-
① SketchUp データの挿入／②「SketchUp モデル」ダイアログボックス	
③マルチビューポート寸法の作成	
2. 「縮尺図面」ダイアログボックス	-185-
<b>06. 表の挿入</b>	-186-
<b>07. DWG/DXF ファイルの挿入</b>	-188-
<b>08. レンダリング設定とモデルの調整</b>	-189-
1. レンダリング設定	-189-
2. 挿入した SketchUp モデルの調整	-191-
①モデルの編集／② SketchUp モデルの「分解」	
<b>09. プレゼンテーション</b>	-193-
1. プレゼンテーション	-193-
①ページの選択／②プレゼンテーションの開始／③アニメーションの再生	

## = Style Builder 編 =

-197-

<b>01. 起動と初期画面</b>	-199-
1. ユーザーインターフェイス	-199-
①メニュー／②ストロークタブ／③設定タブ／④セットパネル	
⑤スタイルプレビュー	
2. オリジナルのスタイルの作成	-200-
①新規作成／②ストローク	
<b>02. ストロークのロードと作成</b>	-201-
1. ストロークをロード	-201-
① Style ファイルからストロークをロードする	
②テンプレート使ってストロークをロードする	
③各サイズのストロークデータをフォルダごとロードする	
<b>03. ストロークのセットとデータの保存</b>	-205-
1. 登録するストロークをセットする	-205-
①個別に選択してコピーする場合／②テンプレートごとコピーする場合	
2. セットしたストロークの削除	-207-
3. スタイル調整	-207-
4. データの保存	-208-
5. SketchUp で .style データをインポートする	-208-

## = BuildMate 編 =

-209-

<b>01. BuildMate の準備</b>	-211-
1. インストール	-211-
①拡張機能として認識させる／②ライセンス認証	
<b>02. BuildMate の活用</b>	-213-
1. BuildMate を起動する	-213-
2. BuildMate を使う	-214-
①コンポーネント (SketchUp モデル) ／②マテリアル	
3. アンインストール	-216-